

令和7年度「杜の都のエコ・スクール活動」報告書

学校番号	22	学校名	仙台市立七郷小学校	校長名	濱本 健
------	----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ

「七郷の豊かな自然と緑を大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

(1) 生活科や総合的な学習の時間での取組

2年生は、学年園で4種類の野菜を育て、生育を観察するとともに家庭に持ち帰りました。また、若林区中央市民センターや明成高校、八木山動物公園と連携しながら、「かぼちゃプロジェクト」に取り組みました。ゾウの糞で作ったたい肥を用いてカボチャを育て、ゾウにカボチャをプレゼントする活動です。食物のサイクルについて学んだことを、学習発表会の内容として取り入れ、保護者や地域の方々に向けて発表しました。さらに、カボチャを収穫した後は、家庭に持ち帰ったり給食で食べたりしました。「いつもより甘く感じた。」「カボチャの煮物が好きになった。」「自分で作ったカボチャはおいしい!」という感想を持つ児童が多く見られました。自分たちで世話をし、食物を育てるやりがいを感じることができ、自然への関心を高める取組となりました。



5年生は、JA仙台青年部の方々に協力していただき、田植え、稲刈り、脱穀を体験しました。社会科や総合の学習で学んだことを体験することによって、学びを深めることができました。学校田にも稲を植え、毎日成長する様子を観察し、稲の成長を喜ぶ姿が見られました。また、収穫した米を家庭に持ち帰って味わいました。改めて七郷地区が自然に恵まれていることを実感し、未来へつなげていきたいという思いを持ちました。

(2) 緑化委員会の取組

「小さな種から大きな花へ」をテーマに活動しました。花や緑の世話をしたいという意欲にあふれた児童が集まっています。5月と8月に夏花壇、冬花壇用の種まきをしました。5月は、マリーゴールド、サルビア、ヒマワリなど7種類、8月は葉ボタン、パンジー、キンセンカなど10種類の種をまきました。2度の植え替えの後、自分たちで花壇に植えた苗が成長し、やがて咲いた花を見たときの感激はひとしおのようでした。また、校庭の木について調べ、木の名前が分かるように植物の名札を作成したことで、親しみを持って花や植物の世話をするようになりました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自分たちで食物や植物を育てることで、身近な七郷の自然を大切にしたいという思いを持つ児童が多く見られました。様々な活動を通して児童の環境や自然への関心が高まっています。これからも、七郷の豊かな自然や緑を大切に、「自分にできることは何か」を考えて、実践する児童を育てていきたいと思っています。